

## 欧州 2021 年の自転車生産輸出入台数等

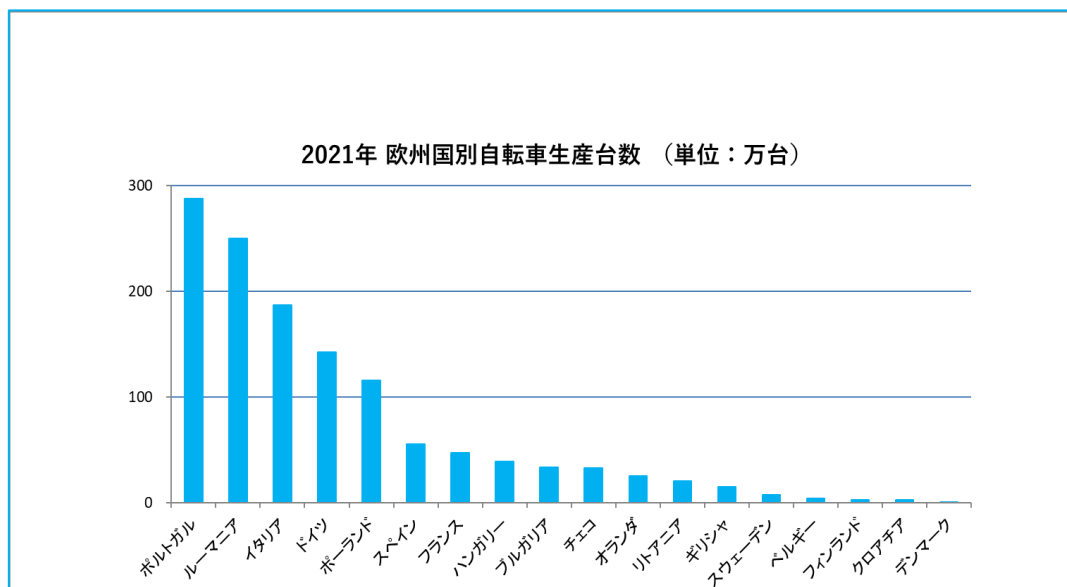
欧州連合（EU）の統計局（EUROSTAT）は、さまざまな統計データをユーロスタットニュースとして公表しているが、その中で、本年（2022年）9月に2021年の自転車生産台数と輸出入台数等を公表したので、その概要を記すとともに、昨年（2021年）、一昨年（2020年）公表の同様のニュースについても併せて紹介する。

### ○EU 2021年の自転車生産台数 1,350万台（2022.9.12付）

2021年にEUで合計1,350万台の自転車が生産されており、2020年と比較して11%の増加を見せている。

自転車販売や生産台数はEU加盟各国によりデータ入手が可能か否かで大きく異なる（オーストリア、ラトビアなどでデータがない等）が、生産台数が最も多かったのはポルトガル（290万台）で、次いで、ルーマニア（250万台）、イタリア（190万台）、ドイツ（140万台）及びポーランド（120万台）と続いている。

ユーロスタットは、自転車利用は人々の健康と幸福を促進するとともに経済的でもあり、クルマからの転換により大気汚染の削減に役立つとしている。

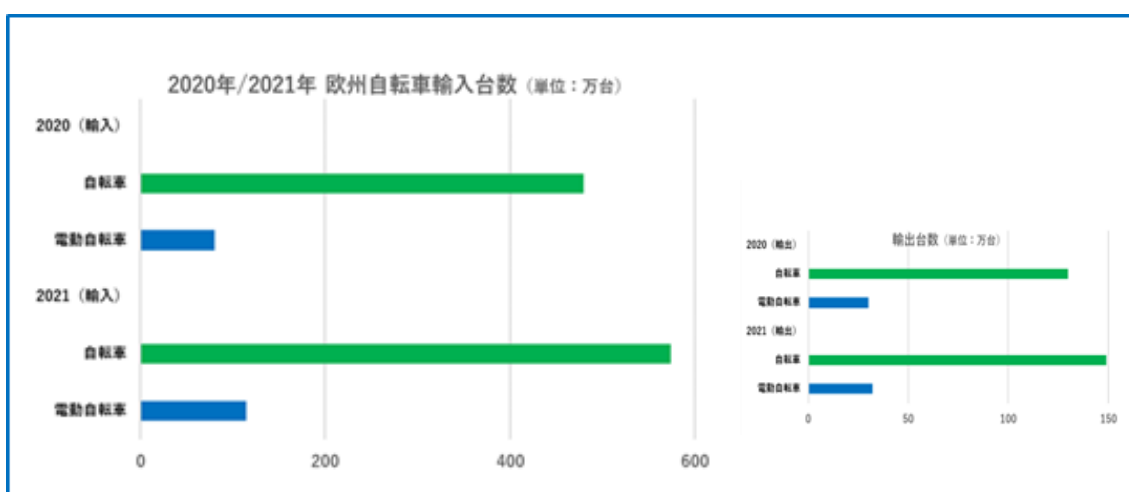


## ○EU 2021 年の自転車輸出額 9 億 2,100 万ユーロ (2022.9.12 付)

2021 年の自転車及び電動自転車の EU 域外の国への輸出額は 9 億 2,100 万ユーロ相当で、輸入額は 18 億 9,600 万ユーロ相当である。

このうち自転車の輸出は 4 億 3,300 万ユーロ相当の 1,487,700 台、輸入は 10 億 4,600 万ユーロ相当の 5,743,700 台で、台数ベースで輸出は対前年比 16%増、輸入も 17%増と、輸出入ともに増加している。

一方、電動自転車は、輸出が 4 億 8,800 万ユーロ相当の 315,800 台、輸入が 8 億 4,900 万ユーロ相当の 1,148,600 台で、台数ベースで輸出は対前年比 15%増、輸入は 37%増と、電動自転車も輸出入ともに増加している。



### ・イギリスとスイスが主な輸出先

2021 年の自転車輸出の主要目的地はイギリス (金額ベースで EU 域外全体の 30%) で、スイス (21%)、米国 (6%)、ノルウェー (5%)、オーストラリア (5%) と続く。電動自転車輸出の主要目的地もスイス (38%) とイギリス (27%) でノルウェー (13%)、米国 (8%) と続く。

### ・台湾が電動自転車輸入の主な供給源

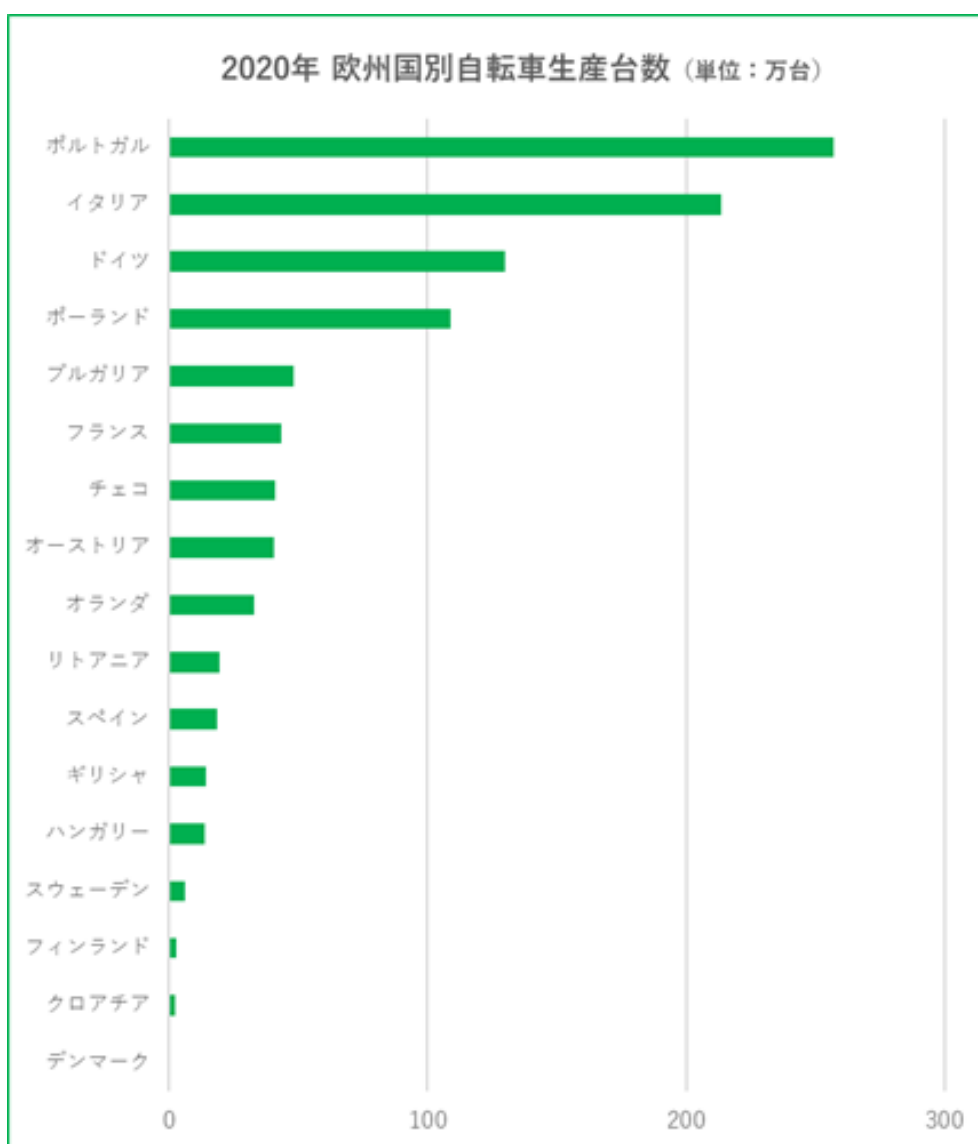
2021 年の自転車輸入は主にカンボジア (EU 域外全体の 27%) からで、台湾 (26%)、中国 (10%)、バングラデッシュ (8%)、トルコ (5%) と続く。電動自転車輸入は主に台湾 (EU 域外全体の 57%) からで、スイス (13%)、ベトナム (11%)、中国 (7%) と続く。

## ○2020年 EUの自転車生産（2021.7.20付）

ユーロスタットは2020年にEUで約1,220万台の自転車が生産されたと推定しており、対前年比1.2%の増加と見ている。

自転車利用が人々の健康と幸福を促進するとともに、経済的でもありクルマからの転換により、大気汚染の削減に役立つとしている。

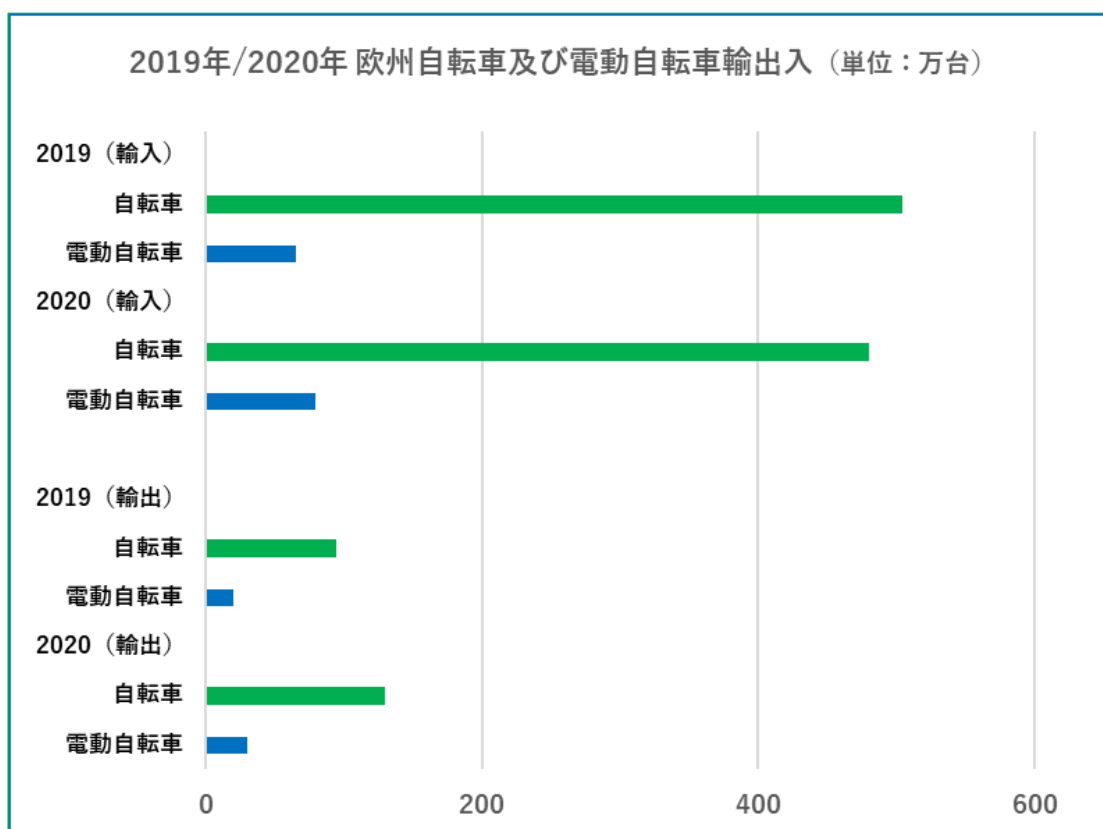
なおEUの自転車生産台数はユーロスタットが公表した2020年の製造物の生産に関する調査から得られたもので、2020年の自転車生産台数はデンマーク（約1,500台）から、イタリア（210万台以上）、ポルトガル（260万台以上）まで、データ入手可能なEU加盟国間で大きく異なる。（ベルギー、ラトビア、ルーマニアなどでデータ非公開、ルクセンブルグなどでデータがない等）



## ○2020年 EU 自転車及び電動自転車貿易（2021.6.3付）

2020年にEUはEU域外の国へ約130万台の自転車（4億7,100万ユーロ相当）を輸出し、EU域外の国から約500万台の自転車（9億3,000万ユーロ相当）を輸入した。台数ベースで輸出は対前年比35%増に対し、輸入は3%減となった。

一方、電動自転車（ペダルアシスト付きと定格出力250w未満の補助電動モーター付きを含む）は4億2,700万ユーロ相当273,900台が輸出され、EU域外の国から7億2,100万ユーロ相当839,100台が輸入された。台数ベースで輸出は対前年比43%増、輸入は19%増と、電動自転車は輸出入ともに対前年比増となった。



### ・EU域外の主な輸出先：イギリスとスイス

2020年もイギリス（EU域外全体の34%）が自転車輸出の主要目的地で、スイス（13%）、ブラジル（9%）、トルコ（5%）、ウズベキスタン（4%）と続く。電動自転車輸出の主要目的地もスイス（36%）とイギリス（29%）で、ノルウェー（14%）、米国（10%）と続く。

### ・自転車輸入の1/4はカンボジアから、電動自転車輸入の1/2は台湾から

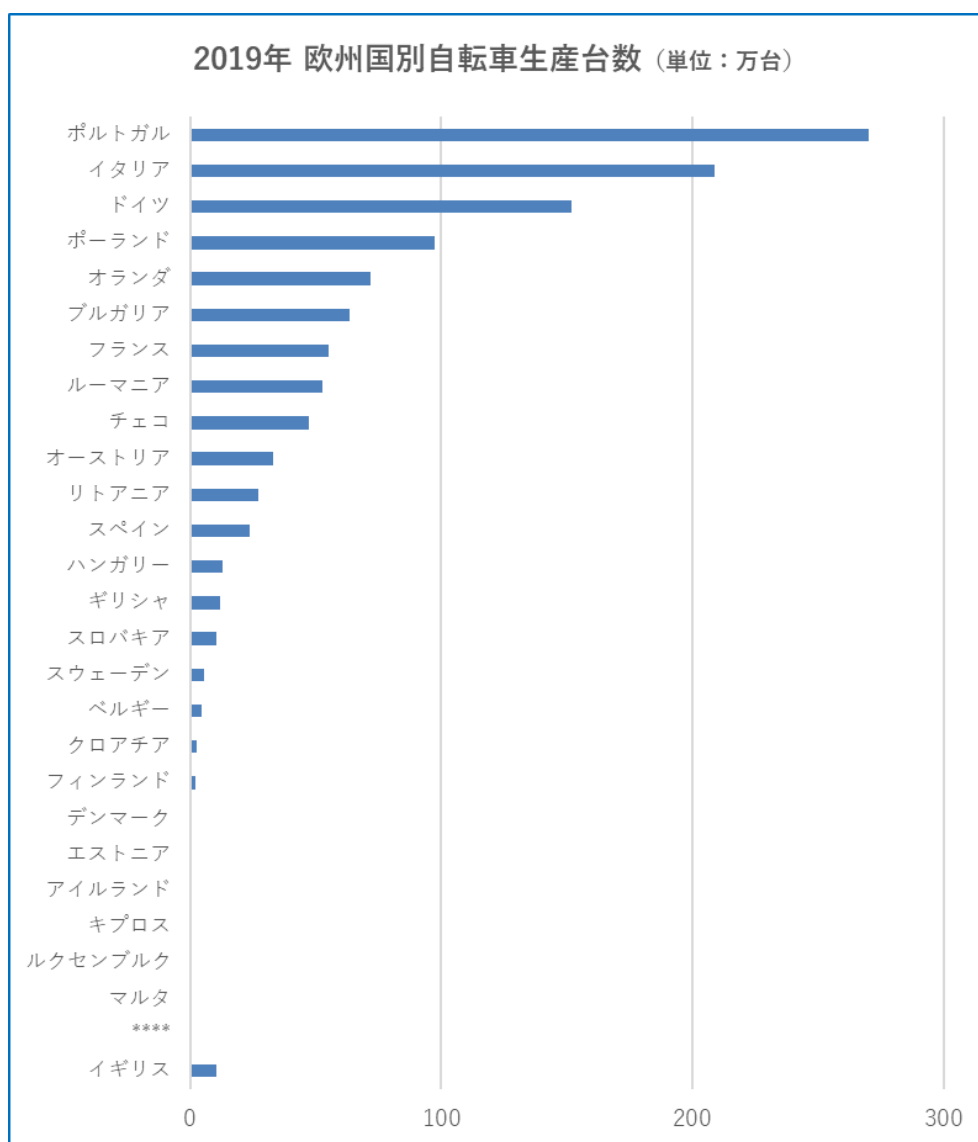
2020年の自転車輸入も主にカンボジア（EU域外全体の24%）からで、中国（17%）、台湾（11%）、バングラデッシュ（8%）、トルコ（7%）、フィリピン（6%）、スリランカ（5%）と続く。電動自転車輸入は主に台湾（EU域外全体の53%）からで、ベトナム（19%）、中国（10%）、トルコ（7%）、スイス（6%）と続く。

## ○2019年 EU 最大の自転車生産国はどこか？（2020.8.13 付）

2019年にEUで1,140万台以上の自転車が生産された。前年（2018年）に対しては5%増、2014年に対しては10%増となったが、ピーク時の2015年は1,370万台で2019年に対し17%上回っていた。

EUの中で2019年はポルトガルが最大の自転車生産国で270万台の自転車を製造している。次いで、イタリア（210万台）、ドイツ（150万台）、ポーランド（90万台）、オランダ（70万台）が続いた。

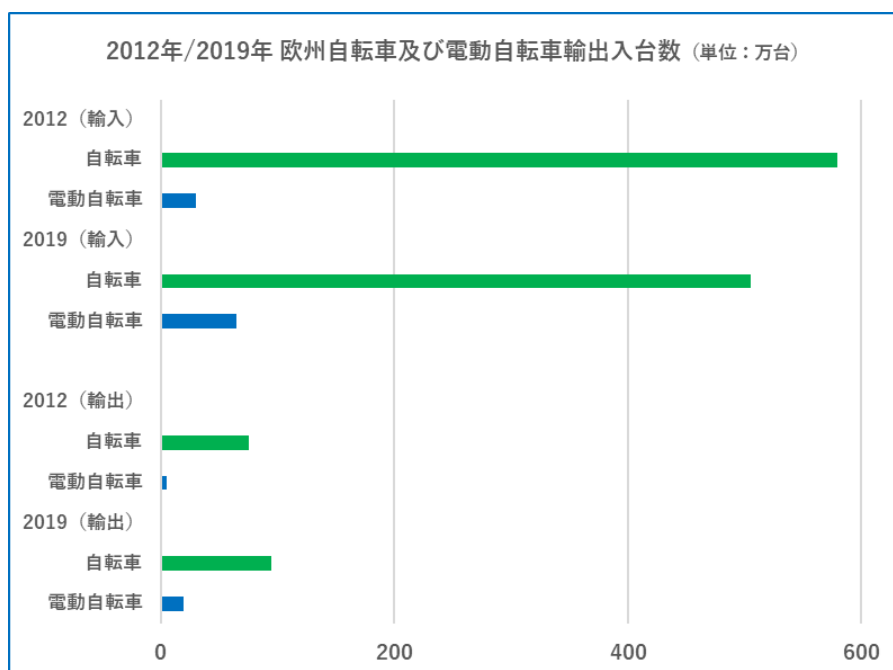
これら5か国で、2019年のEUの自転車総生産台数の70%を占めている。（ラトビア及びスロベニアはデータ非公開、欧州連合は27の加盟国からなる。イギリスは2020年1月31日に欧州連合から離脱）



## ○2019年 EU 自転車及び電動自転車貿易（2020.8.13付）

2019年にEUはEU域外の国へ約100万台の自転車（3億6,800万ユーロ相当）を輸出し、EU域外の国から500万台以上の自転車（9億4,200万ユーロ相当）を輸入した。

7年前の2012年と比較すると、台数ベースで輸出は24%増に対し、輸入は12%減となった。一方、電動自転車（ペダルアシスト付きと定格出力250w未満の補助電動モーター付きを含む）は2億7,200万ユーロ相当の191,900台が輸出され、EU域外の国から5億9,400万ユーロ相当の703,900台が輸入された。2012年と比較すると、台数ベースで電動自転車の輸出は約12倍となり、輸入は倍増となった。



### ・ EU域外の主な輸出先：イギリスとスイス

2019年もイギリス（金額ベースでEU域外全体の36%）が自転車輸出の主要目的地で、スイス（18%）、トルコ（6%）、ウズベキスタン（4%）、ノルウェー（4%）と続く。電動自転車の輸出の主要目的地もスイス（33%）とイギリス（29%）で、ノルウェー（15%）、米国（13%）と続く。

### ・ 自転車輸入の1/4はカンボジアから、電動自転車輸入の1/2は台湾から

2019年の自転車輸入も主にカンボジア（EU域外全体の24%）からで、台湾（15%）、中国（14%）、フィリピン（9%）、バングラデッシュ（7%）、スリランカ（7%）と続く。電動自転車輸入は主に台湾（EU域外全体の52%）からで、ベトナム（21%）、中国（13%）、スイス（6%）と続く。

以上

出所：欧州連合統計局